

評価実施年度	令和 6 年度	学校名	大分県立 大分西 高等学校	
学校教育目標	「明るく、優しく、正しく、強く」の校訓のもと、総合学科の特性を活かした教育により、持続可能な社会の実現に寄与する人材を育成する。			
重点事項	評価項目	評価の観点	評価	今後の改善方法(学校作成)
カリキュラム・マネジメントの確立	学校教育目標	○的確な学校経営ビジョンが策定されていて、学校教育目標の達成に資するために重点目標の焦点化が図られ、校長のリーダーシップの下、全教職員による教育活動が展開されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 極めて良い。 学校経営ビジョンが明確に策定され、学校経営目標も全教職員に理解されている。 学校教育目標の達成に向けて、校長のリーダーシップが発揮されている。 教頭や主幹教諭が校長の考えをしっかりと理解し、他の教職員の活動をサポートしている。 「夢ナビ」が教育活動の中心として、かつ学校経営の基盤に据えられている点は高く評価できる。 ※「夢ナビ」:3年間を系統立てた、大分西高校独自のキャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の学校運営に係るグランドデザインの公表による学校経営ビジョン・学校経営目標の共有を図る。 併せて、組織的に、かつチームとして機能する職員集団の形成を目指す。
	P D C A サイクル	○重点目標を達成するための焦点化された取組指標や達成指標等が適切に設定され、機能しているか。 ○取組指標や達成指標等の評価・検証を計画的に行い、以後の実践に直ちに反映させるなどP D C Aサイクルが確立しているか。 ○予期しない課題が判明した時点で、その解決に向けて校内分掌が速やかに機能するように、組織的な責任・運営体制は整備されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 極めて良い。 重点目標、取組指標、達成目標が適切に設定され、達成に向けて組織的にPDCAサイクルを活用している。 重点目標が具体的に示されている。 各指標に基づいたアンケート調査により実態を把握し、課題についての検討、改善の取組が進められている。 主幹教諭を中心とした「大分西学校づくりプロジェクト」を立ち上げ、本校の特色づくりに資する取組が始まった。 上記にて本校の今後の方向性等について教職員間で意見交換を行い、学校経営参画意識が醸成されている。 学校経営組織が確立しており、組織的な責任体制や運営体制がしっかりと整備されている。 コアクラスの扱いについて、具体的に検討を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度学校評価計画に基づく、重点目標、取組指標、達成目標に対する分掌・教科・年次部における取組を全職員で共有しつつ、教育活動に臨む体制の一層の推進を図る。 「大分西学校づくりプロジェクト」等を活用した「信頼され、求められる学校づくり」を目指した、見直しや改善に向けた検討に継続して取り組む。
	社会との連携・接続	○「開かれた教育課程」の理念に基づき、育成したい生徒像が家庭及び地域と共有されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 情報の伝達・公開を適切に行っているか。(ホームページ・SNSの活用、学校便りの発行等) 生徒・保護者の学校への満足度や要望を把握する取組を行っているか。 地域内外の関係機関との連携や人材を活用しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 極めて良い。 ホームページやSNSを用いて、本校の教育活動等に関わる情報公開が積極的に進められている。 保護者アンケートや学校関係者評価を通じて、情報発信だけでなく、要望・意見を収集している。 開かれた教育課程の理念を踏まえ、地域人材を積極的に活用する姿が見られる。 「夢ナビ」プログラムの取組においても、学校外との関わりを幅広く持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページやSNSを活用した、教育活動に関する積極的な情報発信を行う。 生徒アンケート・保護者アンケート等の活用による学校への満足度・要望等の把握に努める。
主体的・対話的で深い学びの実現	授業の活性化	○授業の活性化が図られているか。 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。 授業のねらいに応じて、言語活動の充実を図ることで、「対話的な学び」が実現できているか。 授業の中で、知識を相互に関連付けて深く理解したり、情報を精査して自己の考えを形成したりする「深い学び」が実現できているか。 I C T を活用して、授業の効率化や授業の振り返りにつながっているか。 ○総合的な探究の時間や課題研究の学びとその他の教科・科目の学びが有機的に結びついているか。 ○生徒の学習習慣が定着し、学力及び学習意欲の高まりがみられるか。	<ul style="list-style-type: none"> 良い。 生徒は学習に対する興味・関心の広がりや探究心の向上等、学習成果と成長を肯定的に捉えている。 生徒は特に学習成果を発表し交流することに、やり甲斐を感じている。 生徒の学習意欲の高さを考慮すると、より主体的な学びを深化させる必要がある。 授業でのインプットの質を高め、発言・表現等のアウトプットの質をより向上させる指導方法の開発を期待する。 生徒は「夢ナビ」について、主体的な学びを進めている姿が見られる。 「夢ナビ」にて、各教科等の指導内容や指導方法が可能な範囲で関連付けられることを期待したい。 授業の活性化を意識し、ICTの有効利用や生徒同士の集団志向を高めるための授業展開が多く見られた。 対話的な学びを意識した生徒間の活動が見られ、生徒も楽しく学んでいる姿が見られた。 ただし、授業によっては本時の目標が提示されていないものがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「1ランク」上の授業(アウトプットの質の向上)を目指し、生徒のより「深い学び」の創造に努める。 「夢ナビ」を中心に据えた、「指導と評価の一体化」に取り組む。(ルーブリックの整備等を踏まえ、各教科における学びと「夢ナビ」の取組との関連強化を図る。) 「西高スタンダード」の定着による「学びに向かう姿勢・態度」の涵養に努める。(学びにおける自主性・主体性の涵養に努める。)
安全・安心な教育環境	いじめ・不登校等の対策	○計画的な面談・相談を通して、個々の生徒の状況を理解した上で、生徒指導が学校の組織を挙げて行われているか。 ○いじめ・不登校防止対策に取り組む体制が整備され、いじめ・不登校問題に対して適切な対応がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 良い。 生徒は教員に対して親しみやすさを感じており、質問や相談に乗ってくれる存在と認識している。 学年が上がる(学校に馴染む)につれて、学校や教員に対する信頼が醸成されている。 逆に言えば、1年次には上記の傾向は低いことから、入学時期の面談等の更なる充実が必要かもしれない。 スクールカウンセラー等の適切な活用により、不登校生徒のサポートを強く推進している様子が伺えた。 組織的に生徒指導を推進している様子が伺えた。 複数の視点から生徒のサポートを行ったり、生徒が安心して高校生活を送れる学校づくりに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談週間(キャリアカウンセリングウイーク:CCW)の活用による生徒理解に努める。 スクールカウンセラー等の専門機関と連携を図りつつ、教育相談活動や特別支援教育活動等における組織的な対応に取り組む。
	安全管理	○学校施設等の安全点検や通学の安全指導及び教職員・生徒の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか。 ○学校事故や非常災害など、緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理体制が機能しているか。また、生徒の安全を確保するための具体的取組が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 極めて良い。 詳細な学校危機管理マニュアルが整備され、安全管理を不断のものとして捉えている様子が伺えた。 上記に学校の状況を踏まえた危機に関する対処方法、特にSNS利用によるトラブルへの対処が追加された。 教室や掲示板等に非常時の行動方法が掲示され、生徒に周知する工夫がなされている。 学校全体として、防災教育や安全教育の推進と生徒の意識向上に力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全に係る「危機管理マニュアル」の不断の見直し・改善に取り組む。 有事の際に、具体的に対応できるよう対処方法等の情報共有に努める。(学校ホームページ、SNS、掲示物等による情報共有の推進)
信頼される学校づくり	働き方改革	○生徒と向き合う時間を確保し、生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革が推進されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 会議・分掌業務、学校行事の精選、見直しを図られているか。 組織的な指導・運営体制の構築と学校の活動方針の徹底等による部活動改革に取り組んでいるか。 情報共有の効率化や校務情報化の推進など、I C T の効果的な活用によって業務改善が図られているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会の指針を踏まえた働き方改革が進められている。 勤務時間管理や休暇取得を中心に、勤務状況の改善が進められている。 完全定時退庁日の設定等、ノー残業の意識を定着させる活動が行われている。 Arms(校務支援システム)や校内ネットワーク等の活用により、更なる業務の効率化の推進が図られている。 職務を遂行する際や悩みの相談等において、同僚および管理職からの支援が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> より良い教育活動を推進するため、教職員の業務対応における「主担当・副担当」制度の推進を図る。 保護者や教職員等からの理解を得つつ、「完全定時退庁日」の設定等、超過勤務の縮減に取り組む。
	学校課題の解決に向けた取組等	○「夢ナビ」プログラムの更なる活用ができていますか。 ○スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの達成に向けた教育活動が計画されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「夢ナビ」は西高独自の魅力的な内容になっており、生徒の学習にとって重要な位置を占めている。 「夢ナビ」は特に学習意欲を高めると共に、学習内容に対する関心を深める効果があることが伺えた。 「夢ナビ」にて他者との交流(異学年、他校生徒、社会人等)を組み込むことで、より学習効果が高まると考える。 西高の特色である「夢ナビ」とその理念がより全生徒・教職員に理解され、意味づけがなされることを期待する。 校長のリーダーシップはスクール・ミッションの実現において、教職員及び生徒に良い影響を及ぼしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「夢ナビ」の理念に関する生徒・教職員の理解の深化と共有に努める。 「夢ナビ」の学習活動に対する見直し・改善に継続的に取り組む。(学校外の人材活用や交流学習の在り方等に関する研究を含む。)
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 校長の的確なリーダーシップの下、全教職員が特色ある大分西高づくりに進んでいる姿が見られた。 校長は学校経営に対する明確なビジョンをもち、一人ひとりの教職員の個性を引き出す学校づくりを展開していると思われる。他の県立高校とは異なる独自の学校づくりのために、更なる「高み」を目指した学校づくりに期待する。 進学を前提とした総合学科の特色を生かすため、「夢ナビ」プログラムを積極的に活用しながら、進学力を向上させるための学校づくりが進められており、特にミドルリーダーを中心として始まった「大分西学校づくりプロジェクト」に注目したい。 生徒は本校の良さと進学からの充実感及び達成感を積極的に語っており、また、中学生にとっても魅力的な要素であったことが伺える。その魅力の源泉を本校の教育上の長所として精査・検討し、発展・開発されることを期待したい。 生徒の進路決定に関わる「夢ナビ」の位置づけを考えると、県外大学への進学希望が多いこと自体は問題ではないが、探究活動の中では、地元の現状(強みと課題)をも理解しつつ、将来のキャリア形成を考える取組になることを期待したい。 前回の訪問で課題として指摘したことについて、しっかりと改善、取組がなされていた。 			
校長コメント(次年度の改善策)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度の学校運営は、「安全・安心の確保」を最優先事項として、単なる「前例踏襲」に陥ることなく、様々な教育活動への見直し・改善に着手した。教育活動の多くの場面で、指導者(教職員)と学習者(生徒)・保護者の共通認識に立った取組にすべく、情報の発信や共有に注力してきた。今回の第三者評価では、このような学校運営の取組に対し、過大な評価をいただき恐縮している。 令和7年度以降も、好評価していただいた事柄について一層の向上を図るべく取組を継続させていきたい。具体には、学校ホームページやSNSを用いた積極的な情報公開による「開かれた学校教育活動」の展開、組織的な対応による「学校生活における安全管理」などである。 また、改善を要する事項については、ご指摘いただいた方向性を十分に踏まえ、具体的な取組として反映させていきたい。特に、本校の教育活動の中核をなす「夢ナビ」を中心に据えたキャリア教育の一層の充実を期し、本校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーの具現化に取り組みたい。 			